中央本部書

第17回 地方ローカル線フォーラム

福知山地本

をお招きし、「和歌山支社

山支社安全推進室の後室長

当日は、講師として和歌 |

荘には西日本各地からの5名を超える参加者が集

り、地方ローカル線の抱える課題について学

ローカル線フォーラム」を開催。会場のくろしお (月)にかけて、和歌山地本準備のもと、 「第17回地方

中央本部青年女性委員会は、8月27日(日)~28

活性化への取り組みとして、一た内容について教えをうけた。する特別講義があり、地域 一和歌山地本が取り組んでき

一た内容について教えをうけた。一し、観光プラン

トをリスト化

知らないような、穴場スポッ

一策箇所を見学。

発表では、「地元の人しか

て議論した。

イデアを、班ごとに分かれ

も出された。

維持・活性化するためのア 最後に、地方ローカル線を

はないか、などのアイデア に足を運んでもらえるので の経験談を聞く事ができ、

ことが多いことなど、多く では、活動は長続きしない のためだけのイベント列車 て残そう運動」や一部地域

ことで、女性や訪日観光客 も大都市だけでなく、地方

ができた。

され、また、SNSなどを

昇降台などがあり、一人で に降りるために設けられた

事前に知らせていなかった が実施され、参加者には、 は、サプライズで避難訓練

い柔軟な発想の企画が提案

活用して、情報を拡散する

これまでの経験から、「乗っ

を考える」など、青女らし

駅間には、お客様が線路

を改めて実感

事前に避

は重要課題ではあるが、

な

カル線の維持・発展を考えよう!

び、青女ならではの柔軟な発想で、対策について

議論を重ねた。

の津波対策」をテーマに特

とを学んた。

続いて、和歌山地本の堂

も管内に設置されているこ 住民が避難するための設備 り、乗客のみならず、地元

柔軟な発想による色々な企画が提案された

別講義を頂いた。

日本大震災が発生する前か

津波対策を進めてお

一化に向けた取り組み」と題 歌山地本のローカル線活性 脇書記長(当時)から、「和

和歌山支社管内では、東

豊岡駅分会

駅分会です。 ようきんさった豊岡へ

あります。豊岡管理駅は、 口である豊岡駅と、今年の の観光名所に行ける京都丹 出石行きのバスや天橋立等 泉やコウノトリ、そしてカ 後鉄道(丹鉄)の乗り換え 6月17日から運行開始して 一で有名な兵庫県豊岡市に

皆さんこんにちは。豊岡

私たちの職場は、城崎温

いる「TWILIGHT

ヘテラン・若手が団結・交流

精一杯業務に努めておりま 利用いただくかを意識し、 お客様にいかに満足してご 識して考動するとともに、 私たちは、日々安全を意

が築いて来られたバトン 中、ベテラン組合員の方々 数以上が若手組合員であ 現在、豊岡駅分会は、半 急速に進む世代交代の

立ち寄り観光駅でもある城

若手組合員がしっかり

EXPRESS

瑞風、が吹き抜ける観光の要路

組合員で構成されていま

可欠と考えてお 組合員の交流が不 るためには、ベテ り、豊岡駅分会で ラン組合員と若手 をしっかり継承す JR西労組運動



リキ

か

秋ら しくな

> 天地爽明 これを

なうのか 天を地も 気分すっきり

ばか

今の

世の中

役職名

代表幹事

事務局長

事

幹

快だよ!

か" ない

てもっ

だものとアリ

0)

地に

かっと

崎温泉駅に所属する39名の | と引き継いで行く時期に直 面しています。

は、レクリエーション

一する事ができました。 年度は6月20日に鉄板焼き を食べに行き、盛大に開催 取り組みを行っており、今 ケーションの向上に向けた 合活動を通じてコミュニ

の参加を促すとともに、組 若手組合員の組合活動へ を図っていきます。 組合員の団結のもと、組織 強化を図りながら活動を行 い、JR西労組運動の継承 らもベテラン組合員・若手 豊岡駅分会では、これ

地からのお越しをお待ちし 松葉ガニを食べに、全国各 ています。 11月上旬から解禁となる 〈福知山地本発〉

約80人の参加者

団結ガンバロー (NESCO労組)による 八木新代表幹事

氏 名

大星

公次

敬弥

真光

栄次

健士

芳廣

啓治

晴信

剛

晃

八木

北村

奥村

中村

田中

八田

森長

桑山

安部

後藤

山田

火野宮 敦

尾上 徹郎

五十嵐浩孝

を満場一致で採択した。

2017年度 JRグル-−プ労組連絡会 幹事会名簿

NESCO労組

JR連合

の設備を、間近に見ること も多くのお客様を救うため フォーラムの締めくくり一波が来る」ことの恐ろしさ ブ労組連絡会 となった。 ため、戸惑いの中での訓練 「3分で19メートルの津

し、前日に勉強した津波対 2日目は、バスに乗車 八木大星氏 (NESCO労組) が

労組連絡会第25回総会が開 出席のもと、JRグループ 員・来賓・傍聴など約80人 に於いて、幹事会・総会委 JRホテルクレメント高松 8月29日(火)~30日(水)

選出エリア

西日本

海

東

東 海

東 海

東 海

西日本

西日本

西日本

西日本

西日本

四 国

九 州

貨 物

JR西日本連合からは、

題について積極的に意見交 の成果、人材確保・契約単 34名が参加。各分科会別討 幹事・総会委員・傍聴など 換を行い、賃金引上げをは 価の見直しなど、現状の課 議に参加し、2017春闘 んでいくべく、全ての議案 じめとした労働条件の改善 にむけて、引き続き取り組

単組名

関西新幹線サービック労組

JR東海ホテルズ労組

東海キヨスク労組

東海交通事業労組

JR西日本メンテック労組

JR西日本伊勢丹労組

JR西日本テクノス労組

四国KIOSK労組

KSK労組

ホテルグランヴィア京都労組

南関東ロジスティクス労組

JR西日本総合ビルサービス労組

してきた火野 宮代表幹事ほ

新代表幹事に選出

再·新

再

新

再

再

再

再

新

再

再

新

再

再

新

日本にとって、 日本にとって、ローカル線の皆さんからは、「JR西 年間代表幹事として、JR グループ労組連絡会を牽引 役員改選で 2日間を通 はこれまで4

再認識した。 入れておくことの重要性を 難経路や、誘導方法を頭に して、 参加者 る機会がないので、非常に とすることができた。 頂き、有意義なフォーラム 良かった」と、多くの声を かなかそういった議論をす

か2名の幹事が退任し、新

〈中央本部青女発〉

一が代表幹事に選出された。 本連合·NESCO労組) たに八木大星氏(JR西日

###